令和６年２月１日

平成20年度から令和４年度までに福島医療専門学校　歯科衛生士科臨地実習における学内症例発表・卒業論文の対象者としてご協力くださった患者様および同発表・論文の担当卒業生様へ

本校歯科衛生士科では下記の研究を実施すべく準備をしております。本研究に上記のような形で関係された方で、ご自身の関与卒業論文が本研究に使用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出、あるいはお問合せ下さい。

研究課題名	過去15年間における臨地実習症例卒業論文500余編の表題名からみた実習生が関与した代表的な治療、処置等の分類
本校の研究責任者（所属）	今泉　正子　（歯科衛生士科）
他の研究機関および施設の研究責任者	なし
本研究の目的	当科では学生に問題と解決法を「研究」する心と能力を養わせるために、教育手段として臨地実習で体験した症例の中から１つを選び症例報告としてまとめることを課しております。概要は先ず当科内報告会において発表し、最終的には形式、内容を整備して卒業論文集に掲載するというものです。そこで本研究では、これまでの15年間にわたる全掲載論文500余編につき、これらを分析して学生がいかなる領域の課題にどのように取り組んできたかを把握し、その意義を検討し、もって教育の場にフィードバックすることを目的とするものです。
調査資料 該当期間	平成20年度から令和４年度までの福島医療専門学校卒業論文集に掲載された歯科衛生士科学生による症例報告論文 500 余編を調査対象としております。
研究の方法	資料は上記のように平成20年度から15年間にわたり発行された卒業論文集に掲載された全ての当科症例報告論文であります。各論文の対象内容は、基本的には論文表題中に示された言葉に則し決定したいと考えております。そこで、それらを先ずは俯瞰し、次いで、全論文対象内容について以下の順に３種に分類します。即ち、１）掲載年度順に分類列記　２）出現頻度の多い順に分類　３）対象内容が互いに関連性の高いものを群としてまとめ、その構成内容数の多い順に分類し、得られた所見につき検討する予定です。
資料／情報の他の機関等への提供	他の機関等への資料・情報の提供はありません。

研究対象の取り扱い	本研究は前述のように、当科臨地実習生による既存の卒業症例論文の表題のみを研究対象としております。従って直接の研究対象者は存在しませんが、間接的には上記論文の著者と同論文の対象となった患者様が、これに相当するかと考えられます。いずれにしましても症例報告論文を学術研究目的に使用することについては、論文著者にも対象患者様にも「説明と同意」の手続きは経ておりません。従って、これら両関係者に対しては研究倫理の面から今般の研究について、協力の有無に関する「説明と同意」の手続きを実施したいと考えております。しかしながら、対象者は患者様および卒業生とも、過去 15 年間にわたる 500 余名であり個々に同意･拒否を得ることは不可能と言えます。そこで「オプト法」により対象者諸氏に対し自由意志の保証とインフォームドコンセントを得たいと思います。これをもって、同意拒否の対象患者・卒業生氏の資料は研究対象としない、ことといたします。
該当論文を本研究に使用を開始する予定日	令和 6 年 3 月 1 日
個人情報の保護	本研究は前述のように当科臨地実習学生の症例報告卒業論文の表題のみを調査対象としているものであり、同症例の対象患者様および同論文の著者各位の個人情報を特定する要素は一切含まれておりません。従って個人情報の保護対象者はおりません。
資料（論文・表題）の使用に同意されない場合の申し出の期限	令和 6 年 2 月 29 日
研究費用（利益相反）	記載すべき経済的な利益関係や利益相反はありません。
お問合せ先	電話：024-927-1248 担当者：今泉正子
備考	